

第 2 章 調査結果

結果の見方

学校区分及び学校規模(児童・生徒数)ごとの人数は、以下の通りである。グラフは、基本的に、学校区分別と学校規模別で描かれている。

学校区分		学校規模				合計(名)
		100名以下	101～300名	301～500名	501名以上	
小学校	校長	50	110	94	86	340
	教頭	49	109	94	86	338
	教職員	247	547	467	428	1,689
中学校	校長	17	63	58	36	174
	教頭	17	63	57	43	180
	教職員	85	314	283	184	866

以下の枠で囲まれた文章は、設問を示している。なお文言は、校長用の調査票の設問文を使用している。

例:

【設問4-1】 平均的な一日の出勤時間をお答えください。(1つだけ選ぶ)

以下の枠で囲まれた文章は、結果の要約を示している。

例:

校長よりも、教頭の方が、出勤時間は早い傾向。
 教頭で最も多い回答は、小学校・中学校ともに「7時20分～7時40分前」(56.5%、55.9%)。
 学校区分あるいは学校規模による特徴は見られない。

2-1.管理職の勤務実態について

2-1-1.出勤時間

【設問4-1】 平均的な一日の出勤時間をお答えください。(1つだけ選ぶ)

校長よりも、教頭の方が出勤時間は早い傾向。

教頭で最も多い回答は、小学校・中学校ともに「7時20分～7時40分前」(56.5%、55.9%)。

学校区分あるいは学校規模による特徴は見られない。

図表2-1-1-1及び2-1-1-2は、管理職の平均的な一日の出勤時間についての回答結果を示している。

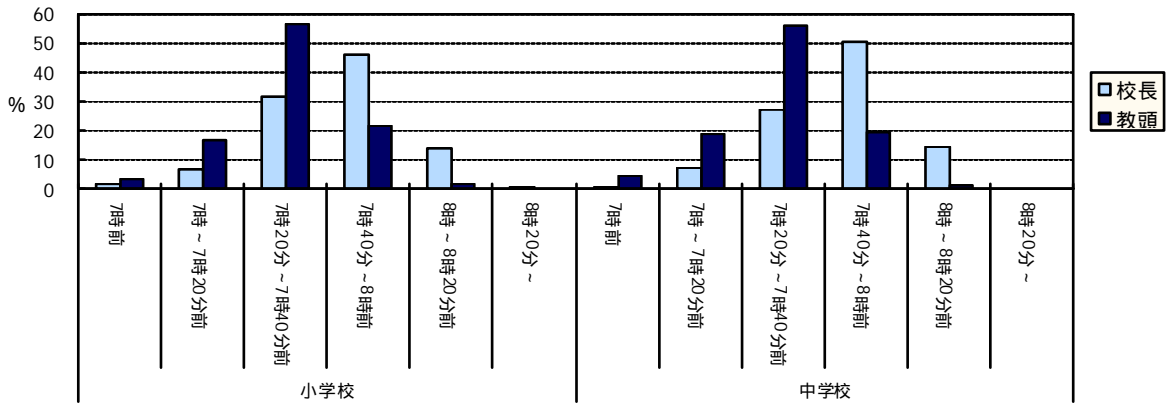
図表2-1-1-1は、学校区分別の結果である。全体としては、教頭の方が校長よりも出勤が早い傾向がある。学校区分による違いは見られない。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「7時40分～8時前」(46.0%)が4割半ばと最も多く、続いて、「7時20分～7時40分前」(31.8%)となっている。小学校の教頭については、半数以上が「7時20分～7時40分前」(56.5%)と回答し、「7時40分～8時前」(21.6%)が2割程度で続いている。

中学校については、小学校とほぼ同様な傾向を示している。校長は、約半数が「7時40分～8時前」(50.6%)と回答しており、続く「7時20分～7時40分前」(27.0%)は、3割弱となっている。教頭については、約半数が「7時20分～7時40分前」(55.9%)と回答し、「7時40分～8時前」(19.6%)、「7時～7時20分前」(19.0%)が2割程度で続いている。

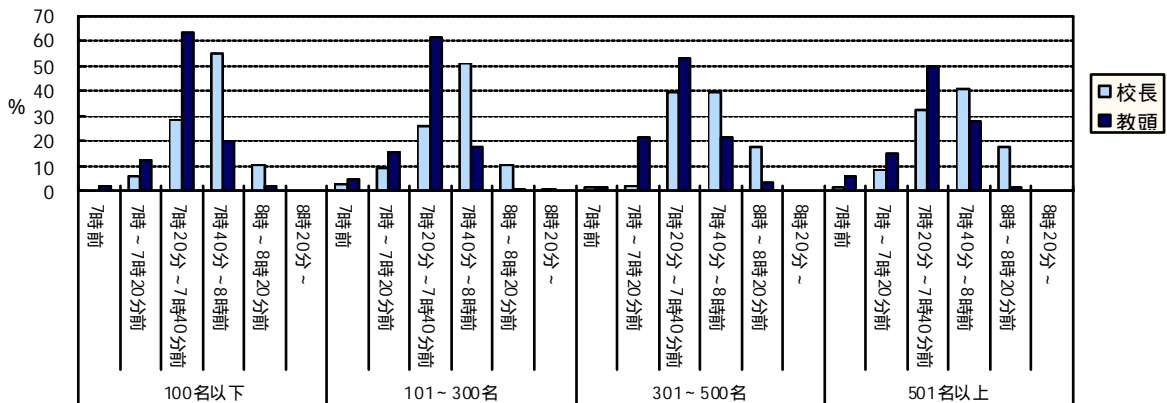
図表2-1-1-2は学校規模別の結果である。学校規模による特徴は特に見られない。

図表 2-1-1-1. 出勤時間 (学校区別)

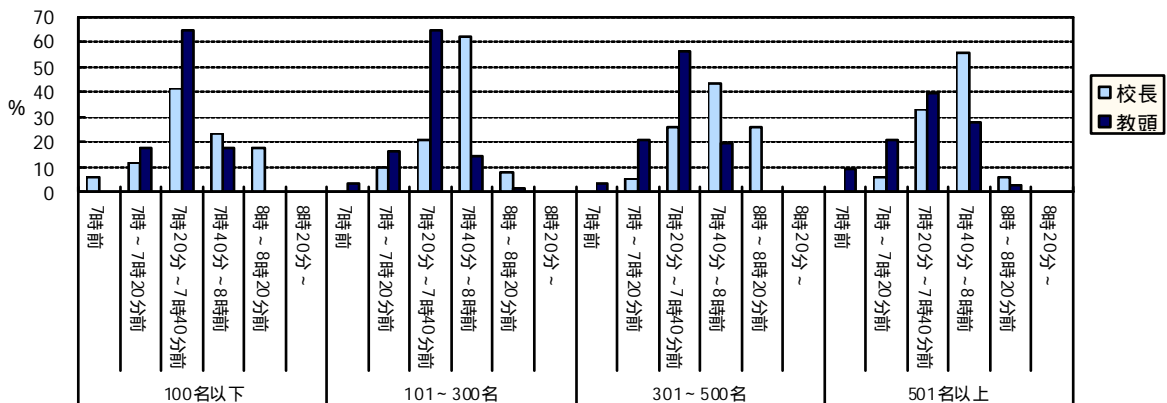


図表 2-1-1-2. 出勤時間 (学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



2-1-2.退勤時間

【設問4 - 2】 平均的な退勤時刻をお答えください。(1つだけ選ぶ)

校長よりも、教頭の方が退勤時間は遅い傾向。

中学校の管理職の方が、小学校に比べて遅い。

教頭で最も多い回答は、小学校では「18時30分～19時前」(26.9%)、中学校では「19時30分～20時前」(25.7%)。

学校規模が大きくなるにしたがって、管理職の退勤時間は遅くなる傾向。

図表 2-1-2-1 及び 2-1-2-2 は、管理職の平均的な一日の退勤時間についての回答結果を示している。

図表 2-1-2-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、教頭の方が校長よりも退勤時間が遅くなっている。また、校長・教頭ともに、小学校に比べて中学校の方が退勤時間が遅い傾向にある。

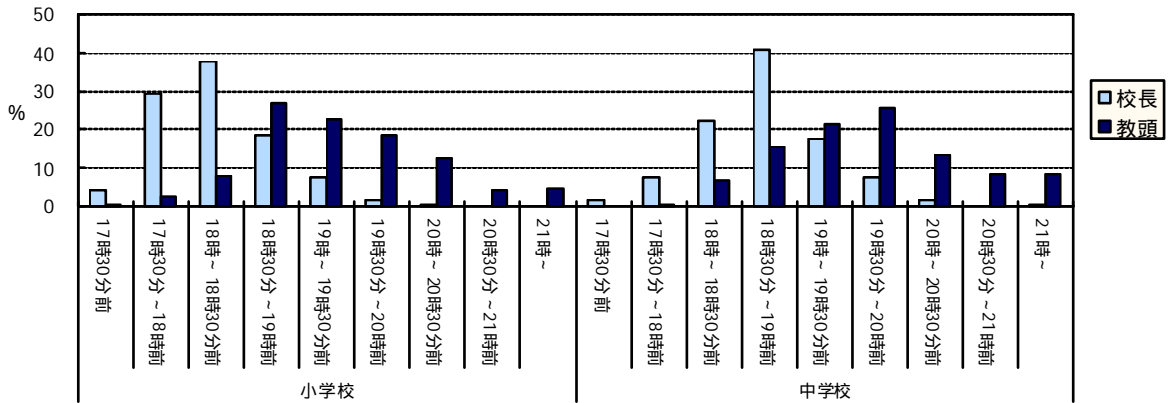
学校区分ごとに見てみる。小学校の校長については、「18時～18時30分前」(37.7%)が4割弱と最も多く、続いて、「17時30分～18時前」(29.4%)が3割弱となっている。教頭については、「18時30分～19時前」(26.9%)が2割半ばと最も多く、「19時～19時30分前」(22.5%)、「19時30分～20時前」(18.6%)と続いている。

中学校については、4割の校長が「18時30分～19時」(40.8%)と回答しており、次に「18時～18時30分前」(22.4%)が2割強で続く。教頭については、「19時30分～20時前」(25.7%)が2割半ばと最も多く、「19時～19時30分前」(21.2%)、「18時30分～19時前」(15.6%)が続いている。

特に教頭については、退勤時間が20時を超えている割合が、小学校では2割(20.9%)、中学校では3割(30.2%)となっており、21時を超えるケースも若干だけが見られる。

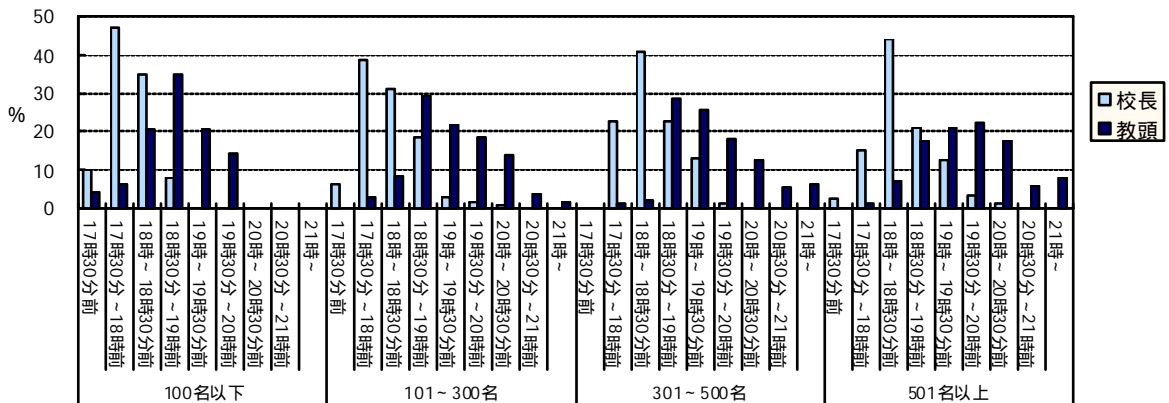
図表 2-1-2-2 は学校規模別の結果である。小学校・中学校ともに、学校規模が大きくなるにつれて、校長及び教頭の退勤時間は遅くなる傾向が見られる。特に、児童・生徒数501名以上の中学校では、2割の教頭が「21時～」(20.9%)と回答している。

図表 2-1-2-1.退勤時間(学校区分別)

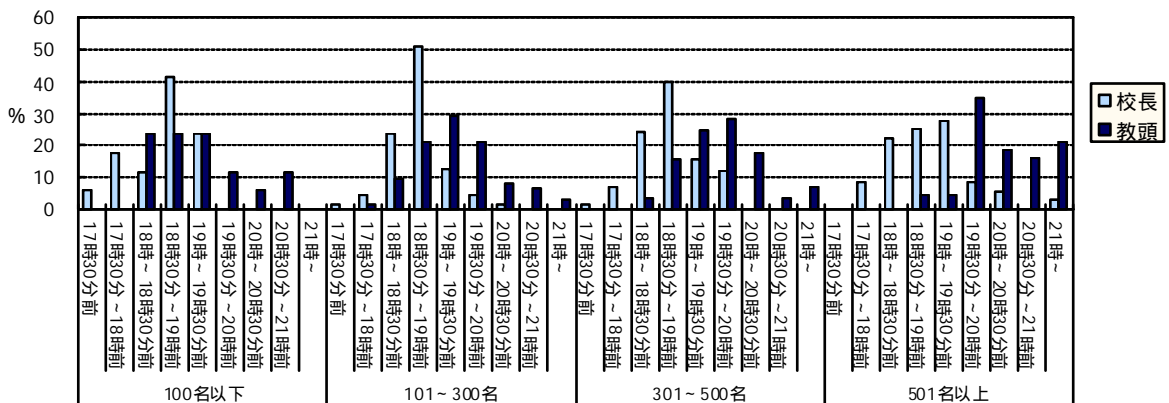


図表 2-1-2-2.退勤時間(学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



2-1-3.勤務時間

【設問4 - 3】 平均的な一日の勤務時間をお答えください。(1つだけ選ぶ)

校長よりも、教頭の方が勤務時間は長い傾向。

小学校及び中学校の教頭で最も多い回答は、「11時間～12時間未満」(39.5%、36.0%)。

中学校の管理職の方が、小学校に比べて勤務時間が長い。

学校規模が大きくなるにしたがって、管理職の勤務時間は長くなる傾向。

図表 2-1-3-1 及び 2-1-3-2 は、管理職の平均的な一日の勤務時間についての回答結果を示している。

図表 2-1-3-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、教頭の方が校長よりも勤務時間が長くなっている。また、校長・教頭ともに、小学校に比べて中学校の方が勤務時間が長い傾向にある。

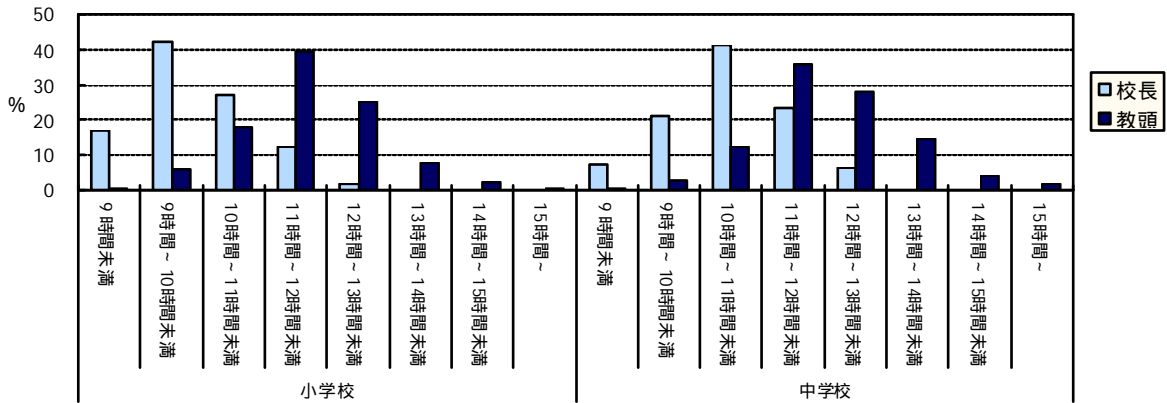
学校区分ごとに見てみる。小学校の校長については、「9時間～10時間未満」(42.1%)が4割強と最も多く、続いて「10時間～11時間未満」(26.9%)が2割半ばとなっている。教頭については、「11時間～12時間未満」(39.5%)が4割弱と最も多く、「12時間～13時間未満」(25.2%)が2割半ばで続いている。

中学校については、「10時間～11時間未満」(41.4%)が4割強と最も多く、続いて「11時間～12時間未満」(23.6%)、「9時間～10時間未満」(21.3%)がそれぞれ2割強となっている。教頭については、「11時間～12時間未満」(36.0%)が3割半ばと最も多く、「11時間～12時間未満」(28.1%)が3割弱となっている。

特に教頭については、勤務時間が13時間を超えている割合が、小学校では1割(10.7%)、中学校では2割(20.2%)となっており、15時間を越えるケースも若干だが見られる。

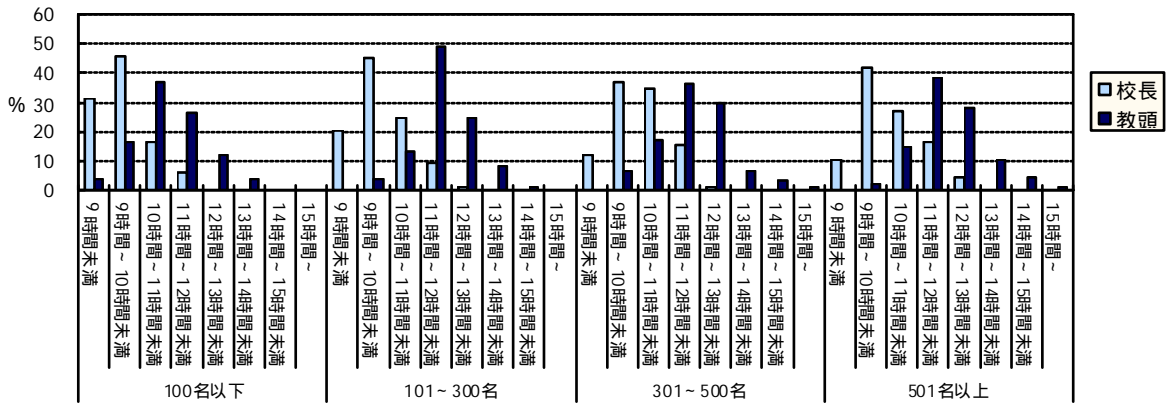
図表 2-1-3-2 は学校規模別の結果である。小学校・中学校ともに、学校規模が大きくなるにしたがって、校長及び教頭の勤務時間は長くなる傾向が見られる。

図表 2-1-3-1.勤務時間(学校区分別)

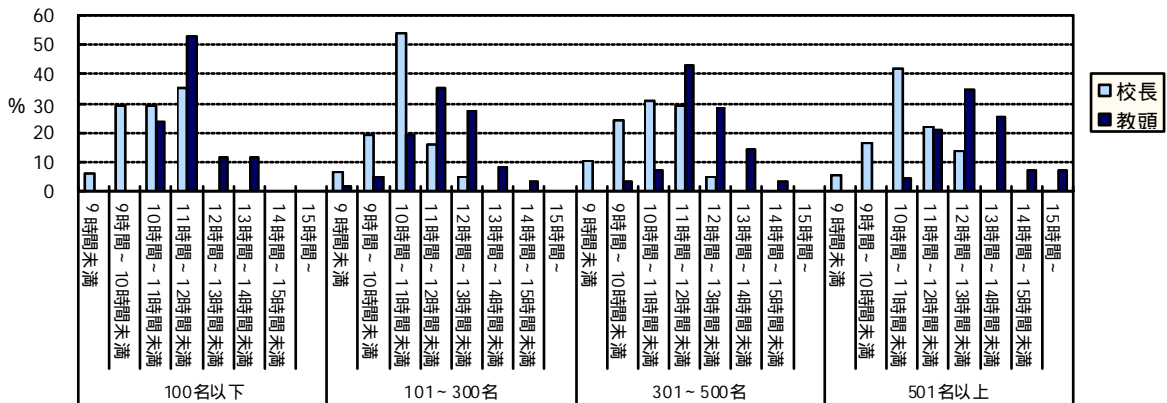


図表 2-1-3-2.勤務時間(学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



2-1-4. 一日のうちで最も時間を費やす業務

【設問4 - 4】 一日のうち最も時間を費やす業務は何ですか。(自由記述)

学校区分に関わらず、校長及び教頭のそれぞれの傾向は同じ。

校長は、「事務処理・書類処理」「授業参観・参加」が多い。

教頭は、「事務処理・書類処理」が圧倒的に多く、「調査への回答・報告」が続く。

図表 2-1-4-1 及び 2-1-4-2 は、管理職が一日のうち最も時間を費やす業務についての自由回答結果を示している。

図表 2-1-4-1 は、校長の結果である。小学校については、「事務処理・書類処理」(39.9%)がほぼ4割と最も多く、「授業参観・参加」(26.6%)が2割半ば、「校内巡視・環境整備」(16.1%)が1割半ばと続いている。

中学校については、「事務処理・書類処理」(41.5%)が4割強と最も多く、「授業参観・参加」(21.1%)が2割強、「会議・打ち合せ」(18.1%)が2割弱と続いている。

図表 2-1-4-2 は、教頭の結果である。小学校については、「事務処理・書類処理」(79.2%)が8割弱と最も多く、「調査への回答・報告」(12.9%)が1割強、「校内巡視・環境整備」(8.2%)が1割弱と続いている。

中学校については、「事務処理・書類処理」(79.5%)が8割弱と最も多く、「調査への回答・報告」(13.5%)が1割強、「学校内の連絡・打ち合せ」(9.4%)が1割弱と続いている。

図表 2-1-4-1. 一日のうちで最も時間を費やす業務(校長)

項目	小学校 (N=316)		中学校 (N=171)	
	度数	割合	度数	割合
事務処理・書類処理	126	39.9%	71	41.5%
授業参観・参加	84	26.6%	36	21.1%
会議・打ち合せ	46	14.6%	31	18.1%
校内巡視・環境整備	51	16.1%	22	12.9%
教職員への指導・コミュニケーション	42	13.3%	25	14.6%
児童・生徒への指導・コミュニケーション	23	7.3%	17	9.9%
学校だよりの作成	27	8.5%	10	5.8%
出張	17	5.4%	13	7.6%
来客対応	15	4.7%	9	5.3%
対外対応	15	4.7%	9	5.3%
その他	49	15.5%	26	15.2%

図表 2-1-4-2. 一日のうちで最も時間を費やす業務(教頭)

項目	小学校 (N=318)		中学校 (N=171)	
	度数	割合	度数	割合
事務処理・書類処理	252	79.2%	136	79.5%
調査への回答・報告	41	12.9%	23	13.5%
校内巡視・環境整備	26	8.2%	9	5.3%
学校内の連絡・打ち合わせ	18	5.7%	16	9.4%
外部との連絡調整・対応	18	5.7%	12	7.0%
その他	20	6.3%	13	7.6%

2-2.資料作成・調査回答について

2-2-1.資料や調査回答の作成に費やす時間

【設問4 - 5】 文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会などに提出する資料や調査回答の作成に、あなたが費やす時間は平均して一日のうちどの程度になりますか。(1つだけ選ぶ)

校長よりも、教頭の方が資料や調査回答の作成に費やす時間は長い。

教頭で最も多い回答は、小学校・中学校ともに、「1.5時間～2時間」(19.3%、20.7%)。

学校区分あるいは学校規模による特徴は見られない。

図表 2-2-1-1 及び 2-2-1-2 は、文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会などに提出する資料や調査回答の作成に管理職が費やす時間(一日平均)についての回答結果を示している。

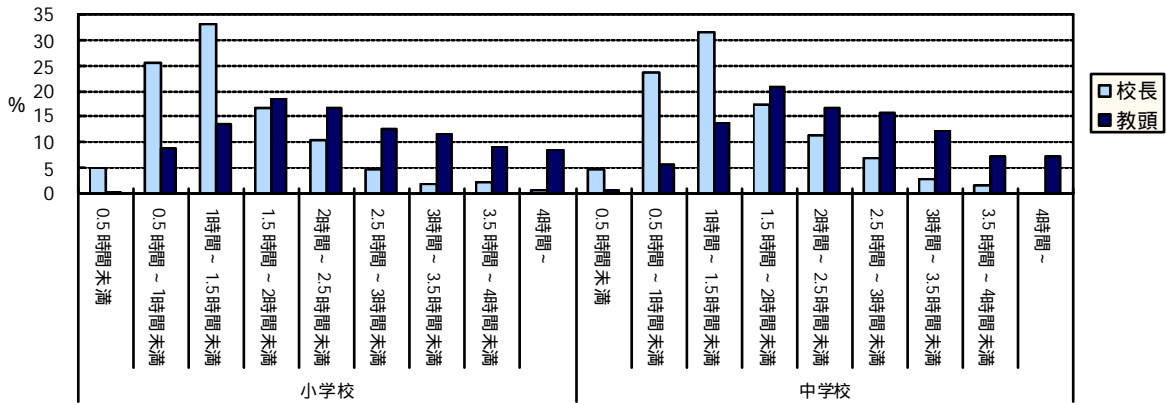
図表 2-2-1-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、学校区分による違いはなく、教頭の方が校長よりも多くの時間を費やしているのが分かる。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「1時間～1.5時間未満」(32.5%)が3割強と最も多く、続いて「0.5時間～1時間未満」(24.9%)が2割半ばとなっている。教頭については、「1.5時間～2時間未満」(19.3%)が2割弱と最も多く、続いて「2時間～2.5時間未満」(16.6%)が1割半ばとなっている。

中学校については、小学校とほぼ同じ傾向を示しており、校長の回答は、「1時間～1.5時間未満」(31.6%)が3割弱と最も多く、続いて「0.5時間～1時間未満」(23.6%)が2割強となっている。教頭については、「1.5時間～2時間未満」(20.7%)が2割と最も高く、続いて「2時間～2.5時間未満」(16.8%)が1割半ばとなっている。

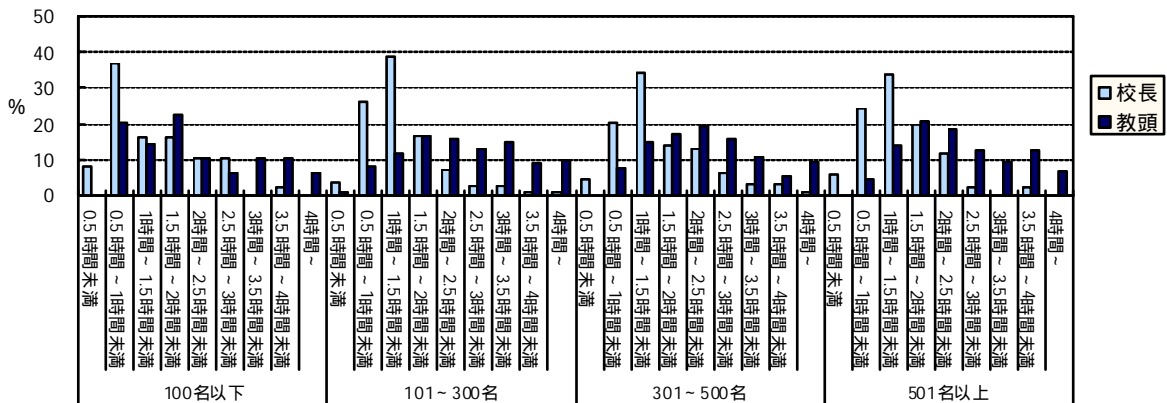
図表 2-2-1-2 は学校規模別の結果である。学校規模の違いによる特徴は特に見られない。

図表 2-2-1-1. 資料や調査回答の作成に費やす時間 (学校区分別)

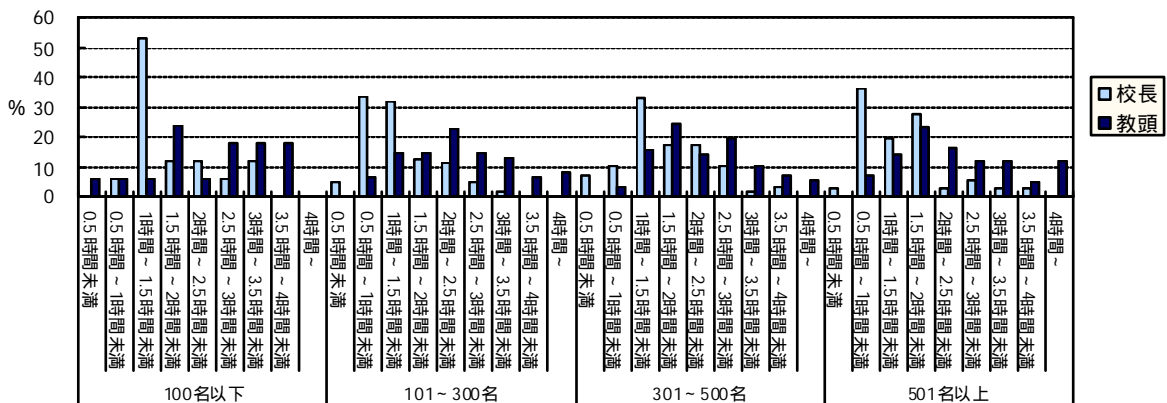


図表 2-2-1-2. 資料や調査回答の作成に費やす時間 (学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



2-2-2. 資料や調査回答の作成に対する負担感

【設問4 - 6】 文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会などに提出する資料や調査回答の作成は、あなたにとってどの程度負担感がありますか。(1つだけ選ぶ)

資料や調査回答の作成に対する負担感は、校長はあまり感じていないが、教頭は強く感じている。中学校において、学校規模が大きくなるにしたがって、管理職の負担感が増す傾向がある。

図表 2-2-2-1 及び 2-2-2-2 は、文部科学省、県教育委員会、市町村教育委員会などに提出する資料や調査回答の作成に対する管理職が感じる負担感についての回答結果を示している。

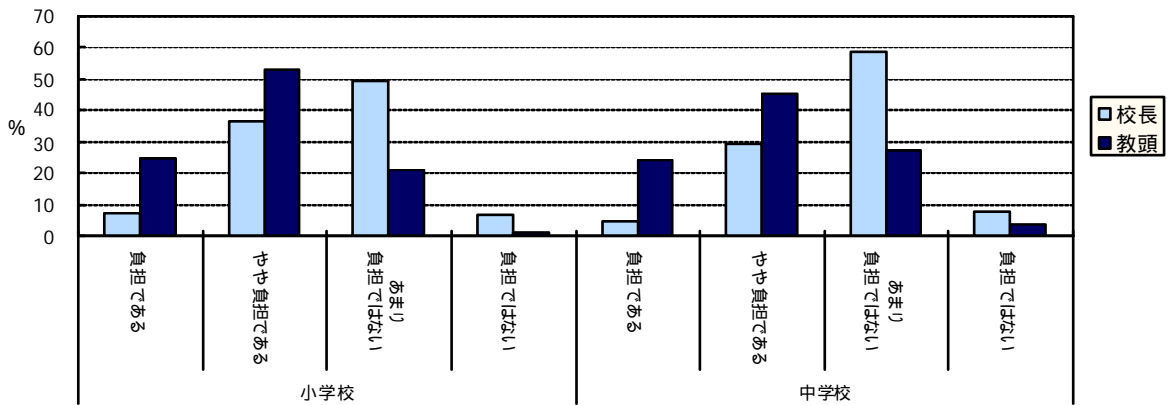
図表 2-2-2-1 は、学校区分別の結果である。全体としては、学校区分による違いはなく、教頭の方が校長よりも負担感が大きい。

学校区分ごとに見てみると、小学校の校長については、「あまり負担ではない」(49.3%)と「負担ではない」(6.8%)を合わせると、5割半ば(56.1%)が負担感を感じていない。一方、教頭については、「負担である」(24.9%)と「やや負担である」(50.3%)とを合わせて、7割半ば(75.2%)が負担感を感じている。

中学校については、小学校とほぼ同じ傾向を示しており、校長は、「あまり負担ではない」(58.6%)と「負担ではない」(7.5%)を合わせると、6割半ば(66.1%)が負担感を感じていない。一方、教頭については、「負担である」(24.0%)と「やや負担である」(45.3%)とを合わせて、7割程度(69.3%)が負担感を感じている。

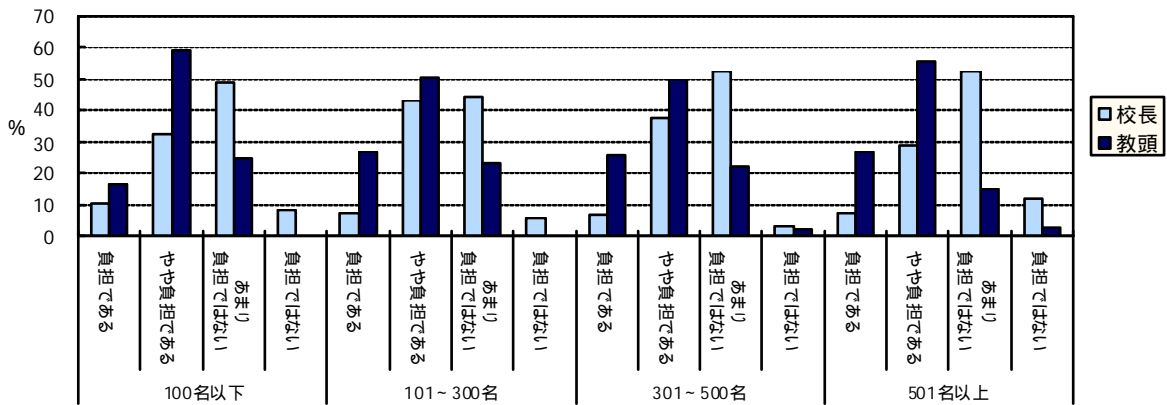
図表 2-2-2-2 は学校規模別の結果である。学校規模の違いによる特徴は、小学校では特に見られないが、中学校については、学校規模が大きくなるにしたがって校長・教頭ともに負担感が増す傾向が見られる。

図表 2-2-2-1. 資料や調査回答の作成に対する負担感(学校区分別)

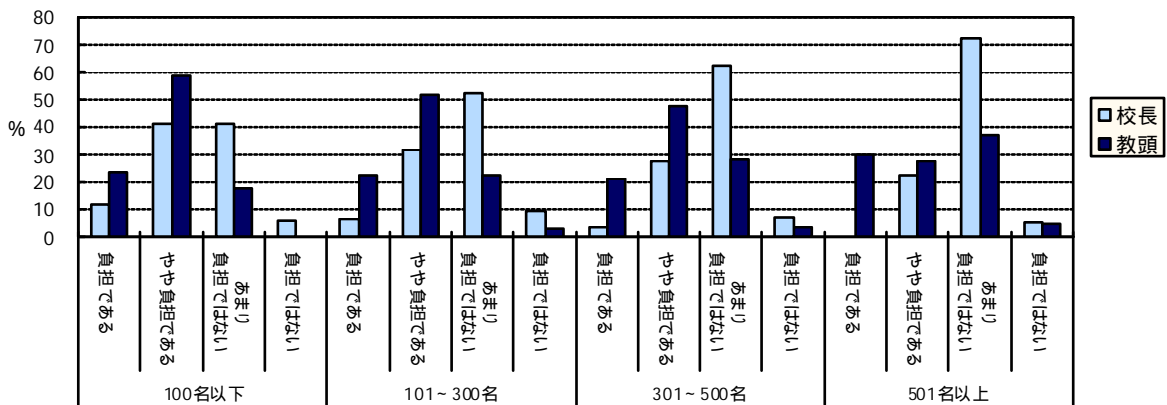


図表 2-2-2-2. 資料や調査回答の作成に対する負担感(学校規模別)

< 小学校 >



< 中学校 >



2-2-3. 負担感の理由

【設問4 - 7】 設問4 - 6で「1. 負担である」「2. やや負担である」と回答した方にお聞きします。調査への回答や資料作成業務に関して、特にどういう点で負担を感じますか。(自由記述)

学校区分に関わらず、校長及び教頭のそれぞれの傾向は同じ。

校長は、「内容の類似・重複」「調査目的が不明確、調査結果が学校・子どもに資さない」が多く、特に小学校では「数が多い」、中学校では「時間をとられる」が多い。

教頭は、「内容の類似・重複」「数が多い」「事前調査・調整が必要」が多い。

図表 2-2-3-1 及び 2-2-3-2 は、調査への回答や資料作成業務に関して、管理職が感じる負担感の理由についての自由回答結果を示している。

図表 2-2-3-1 は、校長の結果である。小学校については、「数が多い」(21.3%)が2割強と最も多く、「内容の類似・重複」(18.4%)が2割弱、「調査目的が不明確、調査結果が学校・子どもに資さない」(14.9%)が1割半ばと続いている。

中学校については、「内容の類似・重複」(23.6%)と「時間をとられる」(21.8%)がともに2割強と多く、「調査目的が不明確、調査結果が学校・子どもに資さない」(16.4%)と「事前調査・調整が必要」(16.4%)がともに1割半ばで続いている。

図表 2-2-3-2 は、教頭の結果である。小学校については、「内容の類似・重複」(26.0%)が2割半ばと最も多く、「事前調査・調整が必要」(21.3%)が2割強、「数が多い」(19.4%)が2割弱と続いている。

中学校については、「数が多い」(30.1%)が3割と最も多く、「内容の類似・重複」(22.8%)と「事前調査・調整が必要」(21.1%)がともに2割強で続いている。

図表 2-2-3-1. 負担感の理由 (校長)

項目	小学校 (N=141)		中学校 (N=55)	
	度数	割合	度数	割合
内容の類似・重複	26	18.4%	13	23.6%
数が多い	30	21.3%	8	14.5%
調査目的が不明確、調査結果が学校・子どもに資さない	21	14.9%	9	16.4%
時間をとられる	12	8.5%	12	21.8%
事前調査・調整が必要	11	7.8%	9	16.4%
回答が困難(面倒)なもの	9	6.4%	3	5.5%
回答時期が短い	7	5.0%	2	3.6%
その他	54	38.3%	14	25.5%

図表 2-2-3-2. 負担感の理由 (教頭)

項目	小学校 (N=258)		中学校 (N=123)	
	度数	割合	度数	割合
内容の類似・重複	67	26.0%	28	22.8%
数が多い	50	19.4%	37	30.1%
事前調査・調整が必要	55	21.3%	26	21.1%
時間をとられる	44	17.1%	11	8.9%
調査目的が不明瞭、調査結果が学校・子どもに資さない	32	12.4%	22	17.9%
回答が困難(面倒)なもの	29	11.2%	18	14.6%
回答期限が短い	25	9.7%	20	16.3%
その他	40	15.5%	19	15.4%